



# Webガイド

## 機能拡張ソフトウェア (AIエンコーダーアプリケーション 新Xシ リーズカメラ向け)

---

---

# 目次

<b>1</b>	<b>はじめに</b>	<b>1</b>
1.1	商品概要	1
1.2	特長	2
1.3	本製品の設置条件	2
1.4	注意事項	3
<b>2</b>	<b>準備</b>	<b>4</b>
2.1	本製品の動作条件を確認する	4
2.2	本製品および機能拡張ソフトウェアをインストールする	7
2.2.1	プリインストールソフトウェアを削除する	7
2.2.2	本製品をダウンロードする	8
2.2.3	カメラ1用の機能拡張ソフトウェアをインストールする	10
2.2.4	カメラ2、3、4用の機能拡張ソフトウェアをインストールする	12
2.3	解除キー番号を取得・登録する	14
2.3.1	キー管理システムにサインアップする	15
2.3.2	カメラ1用の機能拡張ソフトウェアの解除キーを発行する	15
2.3.3	カメラ1用の機能拡張ソフトウェアの解除キーを登録する	18
2.3.4	カメラ2、3、4用の機能拡張ソフトウェアの解除キーを発行する	19
2.3.5	カメラ2、3、4用の機能拡張ソフトウェアの解除キーを登録する	21
2.4	非AIカメラの設定をする	22
<b>3</b>	<b>基本設定</b>	<b>23</b>
3.1	AIエンコーダーアプリケーションの設定	23
3.2	本製品と連携する機能拡張ソフトウェアの設定	27
3.3	マルチAIソフトウェアの設定	30
<b>4</b>	<b>その他</b>	<b>33</b>
4.1	仕様	33
4.1.1	必要なPCの環境	33
4.1.2	本製品について	33

---

4.1.3	本製品と対応ソフトウェアの組み合わせ .....	34
4.1.4	本製品をインストールするカメラ .....	35
4.1.5	非AIカメラ .....	35
4.2	商標および登録商法について .....	36
4.3	オープンソースソフトウェアについて .....	36
4.4	著作権について .....	38
4.5	免責について .....	39

# 1 はじめに

本書は、機能拡張ソフトウェアAIエンコーダーアプリケーション(以下、本製品)を新Xシリーズカメラにインストールする方法と運用を開始する前に必要な設定について説明しています。本製品はカメラにインストールしてご使用いただくことを前提としているため、ご使用の際には、お使いのカメラの取扱説明書もあわせて必ずお読みください。また、本書に記載されている設定画面は、お使いのカメラの機種や i-PRO 設定ツール (iCT:i-PRO Configuration Tool)、マルチAIソフトウェア(WV-ASA100UX) のバージョンによって一部画面と異なる場合があります。

## 1.1 商品概要



本製品は、AIネットワークカメラ(別売り)をより便利にお使いいただくためのソフトウェアです。本製品をカメラにインストールし、本製品と連携する非AIカメラの設定、機能拡張ソフトウェアの設定を行うことでAI機能が無いカメラの映像に対してAI処理を行うことができます。

本製品は 新Xシリーズカメラでの利用について動作保証しています。非AIカメラが HTTP または HTTPS による、MJPEG データ(ストリーム)の送信に対応している場合、本製品に映像を取り込みAI処理を行うことができます。AI処理は新Xシリーズカメラにインストールされた機能拡張ソフトウェアにて処理します。機能拡張ソフトウェアは別途必要となります。本製品は、以下の機能拡張ソフトウェアと組み合わせて使用できます。

- AI動体検知アプリケーション(WV-XAE200WUX)
- AI人物属性識別アプリケーション(WV-XAE205WUX)
- AI車両属性識別アプリケーション(WV-XAE206WUX)
- AI混雑検知アプリケーション(WV-XAE207WUX)

## 1 はじめに

### 1.3 本製品の設置条件

---

- AI状態変化検知アプリケーション(WV-XAE400W)

機能拡張ソフトウェアはAI処理結果として Onvif Event Stream を出力します。本製品の運用にはマルチAIソフトウェア(WV-ASA100UX:別売り)が必要となります。



- 本製品の対応機種、ソフトウェアバージョンなどの情報は、以下のWEBページを参照してください。

→ [機器互換](#) [管理番号:C0103]

→ [アクセサリセクター](#)

- 1つの新Xシリーズカメラに非AIカメラを最大3台まで接続できます。
- 本製品を用いて受信した非AIカメラの映像に対してAI現場学習アプリケーションを使用することはできません。



- 複数の機能拡張ソフトウェアを動作させる場合、機能拡張ソフトウェアの数だけライセンスが必要になります。
- 同一の機能拡張ソフトウェアでも複数使用する場合は、機能拡張ソフトウェアの数だけライセンスが必要です。

## 1.2 特長

本製品は、他のカメラからのMJPEGデータを受信し、機能拡張ソフトウェアによるAI処理を行うことができる新Xシリーズカメラ向けソフトウェアです。AI処理結果は「マルチAIソフトウェア」でアラームを受信したり画像検索を行うことができます。すでに設置されているカメラにAI機能を追加したい場合にも利用できます。

## 1.3 本製品の設置条件

本製品で非AIカメラから MJPEG データを受信して新Xシリーズカメラにインストールされた機能拡張ソフトウェアによってAI処理します。非AIカメラの画角などの設置条件は各機能拡張ソフトウェアの設置条件に準じます。なお、検知性能は非AIカメラの画質に依存します。実際に使用するカメラで動作確認の上、ご使用下さい。

## 1.4 注意事項

- (1) 本製品は新Xシリーズカメラの最新のファームウェアでご利用ください。
- (2) 新Xシリーズカメラに本製品をインストールした場合、機能拡張ソフトウェアのインストール数には制限があります。制限については、[2.1 本製品の動作条件を確認する](#)をご確認ください。
- (3) 非AIカメラの MJPEG データを取得するコマンドが必要になります。なお、本製品にて処理できる映像の解像度、フレームレートは、1920x1080@5fps もしくは、1280x720@5fps となります。
- (4) 本製品を 新Xシリーズカメラにインストールすると、本製品の設定を正しく行うまで新Xシリーズカメラにインストールしている機能拡張ソフトウェアの処理が止まる場合があります。本製品の設定が完了し非AIカメラから MJPEG データを受信すると機能拡張ソフトウェアは正しく動作します。
- (5) 本製品をアンインストールした場合は、新Xシリーズカメラを再起動してください。新Xシリーズカメラにの再起動により新Xシリーズカメラにインストールされている機能拡張ソフトウェアが正しく動作します。
- (6) 新Xシリーズカメラの撮像モードは「16:9(30fpsモード)」または、「16:9(25fpsモード)」を設定してください。
- (7) 新Xシリーズカメラおよび非AIカメラの画像回転は、「0度」または、「180度」を設定してください。
- (8) 新Xシリーズカメラの「アラーム」>「アラーム連動動作」の設定項目は、Offでの使用が推奨です。カメラ2～カメラ4のアラームが、カメラ1のアラームとして動作します。

## 2 準備

### 2.1 本製品の動作条件を確認する

---

## 2 準備

運用までの流れは下記になります。本章では1), 2), 3)について記載します。

- 1) 本製品の動作条件を確認する  
→ [2.1 本製品の動作条件を確認する](#)
- 2) 本製品および機能拡張ソフトウェアをインストールする  
→ [2.2 本製品および機能拡張ソフトウェアをインストールする](#)
- 3) 解除キー番号を取得・登録する  
→ [2.3 解除キー番号を取得・登録する](#)
- 4) 非AIカメラの設定をする  
→ [2.4 非AIカメラの設定をする](#)
- 5) 運用開始

### 2.1 本製品の動作条件を確認する

本製品を使用時は、同時に動作する機能拡張ソフトウェアの数に次に示す制限があります。



– 非AIカメラを追加する際は、機能拡張ソフトウェアのインストール数に注意してください。機能拡張ソフトウェアの同時動作最大数を超えないように、あらかじめ機能拡張ソフトウェアをアンインストールしてから非AIカメラを追加してください。

#### 非AIカメラを3台使用するときの条件

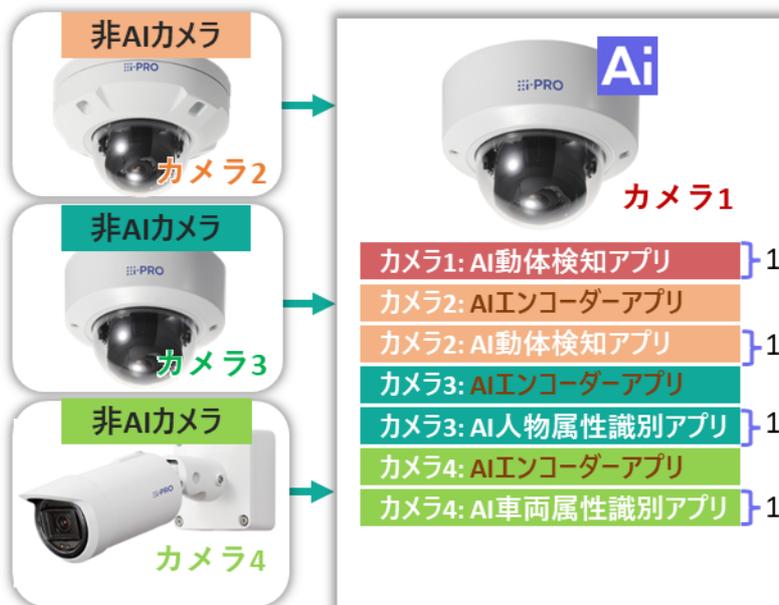
非AIカメラ3台使用時の動作条件を示します。各カメラ用に同時に動作できる機能拡張ソフトウェアの数は最大1つまでです。

	カメラ種別	機能拡張ソフトの同時動作最大数	機能拡張ソフトウェア
カメラ1	新Xシリーズカメラ	1	– AI動体検知アプリケーション (WV-XAE200WUX) – AI人物属性識別アプリケーション (WV-XAE205WUX)
カメラ2	非AIカメラ	1	– AI車両属性識別アプリケーション (WV-XAE206WUX)

## 2 準備

### 2.1 本製品の動作条件を確認する

カメラ3	非AIカメラ	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>- AI混雑検知アプリケーション (WV-XAE207WUX)</li> <li>- AI状態変化検知アプリケーション (WV-XAE400W) ※</li> </ul> カメラ1～4の内、いずれか1つまで
カメラ4	非AIカメラ	1	



#### 非AIカメラを2台使用するときの条件

非AIカメラ2台使用時の動作条件を示します。各カメラ用に同時に動作できる機能拡張ソフトウェアの数は最大2つまでです。

	カメラ種別	機能拡張ソフトの同時動作最大数	機能拡張ソフトウェア
カメラ1	新Xシリーズカメラ	2 (2MP, 5MPカメラ) 1 (8MPカメラ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>- AI動体検知アプリケーション (WV-XAE200WUX)</li> <li>- AI人物属性識別アプリケーション (WV-XAE205WUX)</li> </ul>
カメラ2	非AIカメラ	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>- AI車両属性識別アプリケーション (WV-XAE206WUX)</li> </ul>
カメラ3	非AIカメラ	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>- AI混雑検知アプリケーション (WV-XAE207WUX)</li> <li>- AI状態変化検知アプリケーション (WV-XAE400W) ※</li> </ul> カメラ1～3の内、いずれか1つまで

## 2 準備

### 2.1 本製品の動作条件を確認する

#### 5MPの新Xシリーズカメラの場合



#### 非AIカメラを1台使用するときの条件

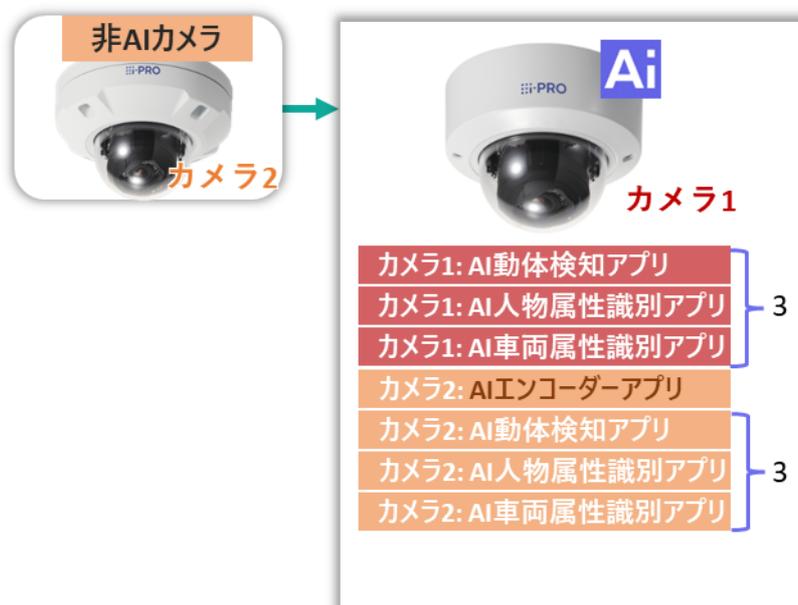
非AIカメラ1台使用時の動作条件を示します。各カメラ用に同時に動作できる機能拡張ソフトウェアの数は最大3つまでです。

	カメラ種別	機能拡張ソフトの同時動作最大数	機能拡張ソフトウェア
カメラ1	新Xシリーズカメラ	3 (2MP, 5MPカメラ) 2 (8MPカメラ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>- AI動体検知アプリケーション (WV-XAE200WUX)</li> <li>- AI人物属性識別アプリケーション (WV-XAE205WUX)</li> </ul>
カメラ2	非AIカメラ	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>- AI車両属性識別アプリケーション (WV-XAE206WUX)</li> <li>- AI混雑検知アプリケーション (WV-XAE207WUX)</li> <li>- AI状態変化検知アプリケーション (WV-XAE400W) ※</li> </ul> ※ カメラ1,2の内、いずれか1つまで

## 2 準備

### 2.2 本製品および機能拡張ソフトウェアをインストールする

#### 5MPの新Xシリーズカメラの場合



– 新Xシリーズカメラは本製品と連携するソフトウェア以外も使用できます。同時に利用可能なソフトウェアの組み合わせは、以下Webサイトを参照ください。

→ [機器互換](#) [管理番号:C0103]

→ [アクセサリセクター](#)

## 2.2 本製品および機能拡張ソフトウェアをインストールする

以下の手順で本製品および機能拡張ソフトウェアのインストールを行います。

- 1) 2.2.1 [プリインストールソフトウェアを削除する](#)
- 2) 2.2.2 [本製品をダウンロードする](#)
- 3) 2.2.3 [カメラ1用の機能拡張ソフトウェアをインストールする](#)
- 4) 2.2.4 [カメラ2、3、4用の機能拡張ソフトウェアをインストールする](#)

### 2.2.1 プリインストールソフトウェアを削除する

プリインストールソフトウェアをすべて削除します。

- ① iCTの画面から、左側のメニューの「機能拡張ソフトウェアの管理」をクリックします。
- ② 「アプリケーション/解除キーの削除」をクリックします。
- ③ 機器リストの上部のタブ「全ての機器」をクリックします。

## 2 準備

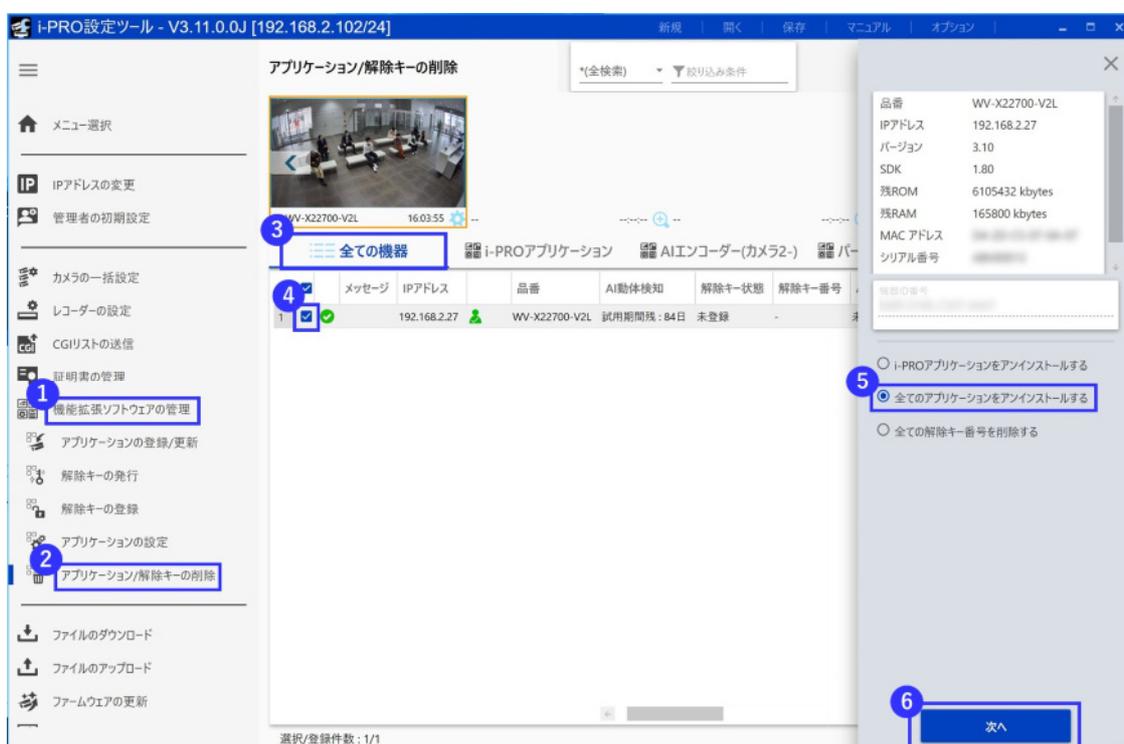
### 2.2 本製品および機能拡張ソフトウェアをインストールする

- ④ 機器リストから機能拡張アプリケーションをすべて削除するカメラをチェックします。



本手順ではカメラにインストールしているすべての機能拡張ソフトウェアを削除します。対象のカメラのみにチェックが入っていることを確認してください。

- ⑤ 右側のメニューの「全てのアプリケーションをアンインストールする」を選択し、「次へ」をクリックします。
- ⑥ ダイアログを確認後「はい」をクリックし、画面のガイダンスに従い操作を行います。しばらく待つとすべての機能拡張アプリケーションが削除されます。



### 2.2.2 本製品をダウンロードする

本製品のダウンロードサイトにアクセスし、[AIエンコーダーアプリケーション Xシリーズカメラ用]をダウンロードし、zipファイルを解凍してください。zipファイルには以下のソフトウェアが含まれています。

新Xシリーズカメラの映像処理用の機能拡張ソフトウェア

- XAE200\_vXXXXX.ext
- XAE205\_vXXXXX.ext
- XAE206\_vXXXXX.ext

## 2 準備

### 2.2 本製品および機能拡張ソフトウェアをインストールする

---

- XAE207\_vXXXX.ext
- XAE400\_vXXXX.ext

#### AIエンコーダーアプリケーション

- AIEncoder-Cam2\_vXXX.ext
- AIEncoder-Cam3\_vXXX.ext
- AIEncoder-Cam4\_vXXX.ext

#### 非AIカメラの映像処理用の機能拡張ソフトウェア

AIEncoder-Cam2\_vXXX.ext と連携するソフトウェア

- XAE200-Cam2\_vXXX.ext
- XAE205-Cam2\_vXXX.ext
- XAE206-Cam2\_vXXX.ext
- XAE207-Cam2\_vXXX.ext
- XAE400-Cam2\_vXXX.ext

AIEncoder-Cam3\_vXXX.ext と連携するソフトウェア

- XAE200-Cam3\_vXXX.ext
- XAE205-Cam3\_vXXX.ext
- XAE206-Cam3\_vXXX.ext
- XAE207-Cam3\_vXXX.ext
- XAE400-Cam3\_vXXX.ext

AIEncoder-Cam4\_vXXX.ext と連携するソフトウェア

- XAE200-Cam4\_vXXX.ext
- XAE205-Cam4\_vXXX.ext
- XAE206-Cam4\_vXXX.ext
- XAE207-Cam4\_vXXX.ext
- XAE400-Cam4\_vXXX.ext



本製品のダウンロードサイトについては、以下を参照してください。

→[ダウンロードサイトはこちら](#)



保存先のディレクトリ名に、スペース、マルチバイト文字は使用しないでください。

## 2 準備

### 2.2 本製品および機能拡張ソフトウェアをインストールする

以降では、[非AIカメラを3台使用するときの条件](#)で示した構成を例に、非AIカメラ3台と[表 1. インストール例](#)の機能拡張ソフトウェアをインストールする手順を説明します。

表 1. インストール例

	カメラ種別	AIエンコーダーアプリケーション ファイル名	機能拡張ソフトウェア ファイル名
カメラ1	新Xシリーズカメラ	—	XAE200_vXXX.ext
カメラ2	非AIカメラ	AIEncoder-Cam2_vXXX.ext	XAE205-Cam2_vXXX.ext
カメラ3	非AIカメラ	AIEncoder-Cam3_vXXX.ext	XAE206-Cam3_vXXX.ext
カメラ4	非AIカメラ	AIEncoder-Cam4_vXXX.ext	XAE207-Cam4_vXXX.ext



- AIエンコーダーアプリケーションをご使用になる際は、新Xシリーズカメラ用の機能拡張ソフトウェアも本製品の zip ファイルに含まれるファイルを使用してください。



- 本製品と対応する機能拡張ソフトウェアファイルの組み合わせは、[4.1.3 本製品と対応ソフトウェアの組み合わせ](#)をご参照ください。
- ソフトウェアのインストール順序に制約はありません。ご使用になるすべての機能拡張ソフトウェアをインストールしてください。

#### 2.2.3

### カメラ1用の機能拡張ソフトウェアをインストールする



- 必ずカメラ1用の機能拡張ソフトウェアからインストールしてください。カメラ2、カメラ3、カメラ4用の機能拡張ソフトウェアをインストールした状態で、カメラ1用の機能拡張ソフトウェアをインストールする場合、カメラ2、カメラ3、カメラ4用の機能拡張ソフトウェアを削除後、カメラ1用の機能拡張ソフトウェアをインストールしてください。

カメラ1用の新Xシリーズカメラ用の機能拡張アプリケーションをインストールします。

- ① iCTを開き、左側のメニューの「機能拡張ソフトウェアの管理」をクリックします。
- ② 「アプリケーションの登録/更新」をクリックします。
- ③ 機器リスト上部のタブ「i-PROアプリケーション」をクリックします。
- ④ 機器リストから機能拡張アプリケーションをインストールするカメラをチェックします。
- ⑤ iCTの右側のメニューの「機能拡張ソフトウェア」のプルダウンメニューから「AI動体検知」を選択します。
- ⑥ 本製品のダウンロードサイトからダウンロードしたzipファイルを解凍したフォルダを指定します。
- ⑦ カメラ1～4のチェックを外します。

## 2 準備

### 2.2 本製品および機能拡張ソフトウェアをインストールする

⑧ 「確認画面へ」のボタンをクリックします。

画面のガイダンスに従い操作を進めるとカメラ1新Xシリーズ用のAI動体検知アプリケーション(XAE200\_vXXX.ext)がインストールされます。



#### カメラ1専用の機能拡張ソフトウェアをインストールする

- カメラ1は、本製品と連携する機能拡張ソフトウェア以外にも使用できます。
- カメラ1用の機能拡張ソフトウェアはWEBサイトからダウンロードできます。
- ダウンロードしたzipファイルは解凍してください。

#### インストール手順

- 上記の手順の⑤、⑥を以下のようにインストールしたい機能拡張ソフトウェアに変更してください。
- ⑤にて、iCTの右側のメニューの「機能拡張ソフトウェア」のプルダウンメニューからダウンロードした機能拡張ソフトウェアを選択します。
- ⑥にて、本製品のダウンロードサイトからダウンロードしたzipファイルを解凍したフォルダを指定します。



- インストール中は、カメラの電源を切らないでください。
- インストール中は、インストールが終了するまで一切の操作を行わないでください。

## 2 準備

### 2.2 本製品および機能拡張ソフトウェアをインストールする

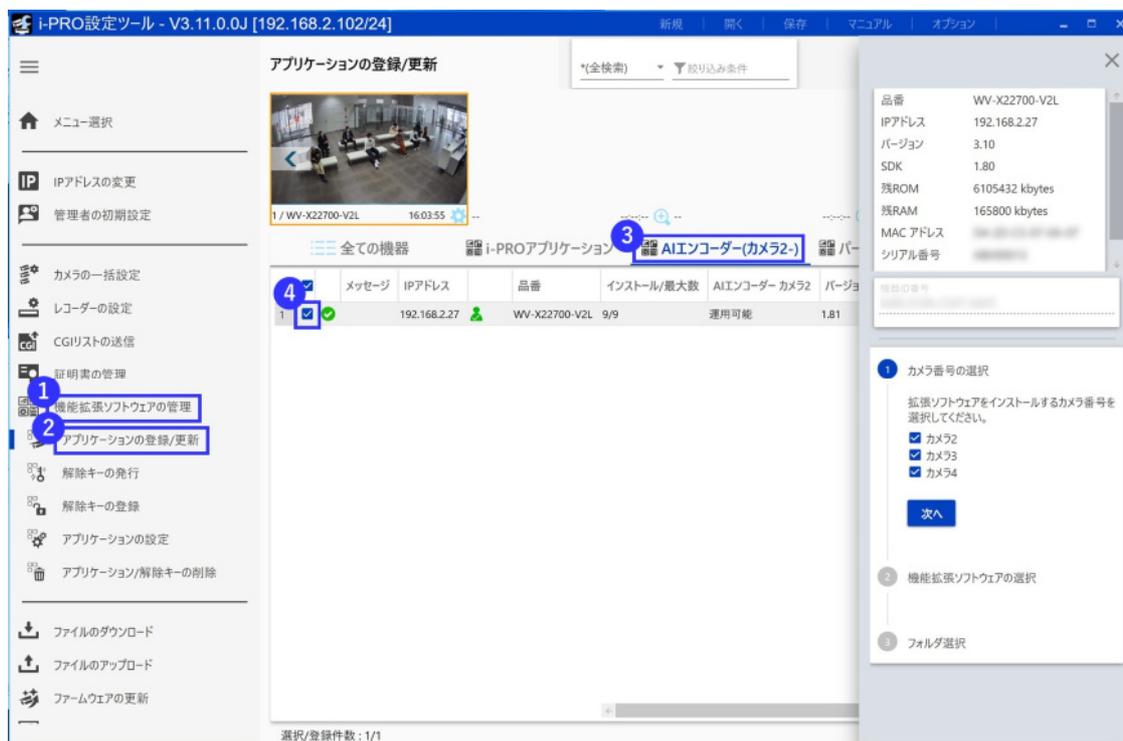
#### 2.2.4 カメラ2、3、4用の機能拡張ソフトウェアをインストールする



必ずカメラ1用の機能拡張ソフトウェアからインストールしてください。カメラ2、カメラ3、カメラ4用の機能拡張ソフトウェアをインストールした状態で、カメラ1用の機能拡張ソフトウェアをインストールする場合、カメラ2、カメラ3、カメラ4用の機能拡張ソフトウェアを削除後、カメラ1用の機能拡張ソフトウェアをインストールしてください。

カメラ2、3、4の非AIカメラ用に表 1. インストール例の機能拡張アプリケーションをインストールします。

- ① iCTを開き、左側のメニューの「機能拡張ソフトウェアの管理」をクリックします。
- ② 「アプリケーションの登録/更新」をクリックします。
- ③ 機器リスト上部のタブ「AIエンコーダー(カメラ2-)」をクリックします。
- ④ 機器リストから機能拡張アプリケーションをインストールするカメラをチェックします。



以降の手順は「AIエンコーダー(カメラ2-)」の画面の操作です。カメラ2、カメラ3、カメラ4の機能拡張ソフトウェアにインストールの順序はありません。

カメラ2用のAI人物属性識別アプリケーションをインストールします。

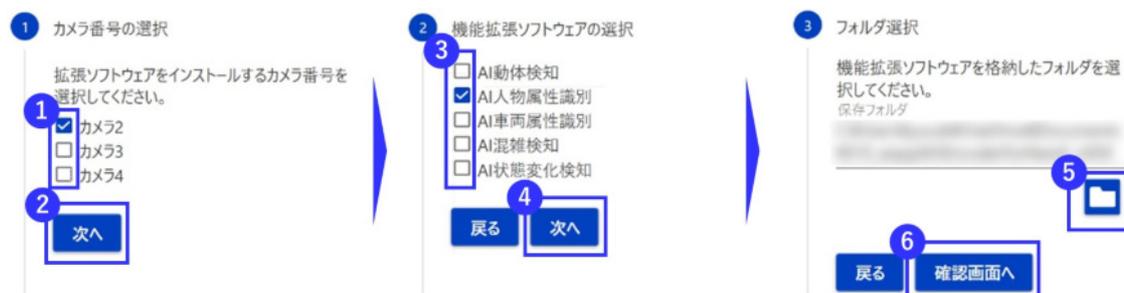
- ① 「AIエンコーダー(カメラ2-)」の画面の右側のメニューから、カメラ2をチェックします。
- ② 「次へ」をクリックします。
- ③ 「AI人物属性識別」をチェックします。
- ④ 「次へ」をクリックします。

## 2 準備

### 2.2 本製品および機能拡張ソフトウェアをインストールする

- ⑤ 保存フォルダに本製品のダウンロードサイトからダウンロードしたzipファイルを解凍したフォルダを指定します。
- ⑥ 「確認画面へ」をクリックします。

画面のガイダンスに従い操作を進めるとカメラ2用のAI人物属性識別アプリケーション(XAE205-Cam2\_vXXX.ext)とカメラ2用のAIエンコーダー(AIEncoder-Cam2\_vXXX.ext)がインストールされます。

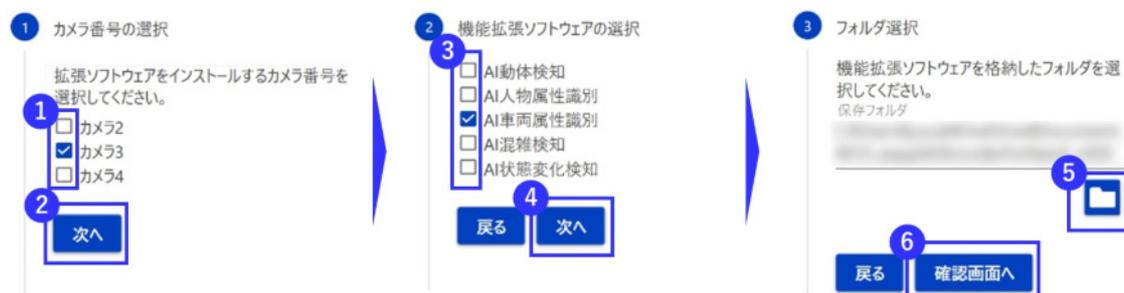


「戻る」ボタンをクリックして、「カメラ番号の選択」画面まで戻ります。

カメラ3用のAI車両属性識別アプリケーションをインストールします。

- ① 「AIエンコーダー(カメラ2-)」の画面の右側のメニューから、カメラ3をチェックします。
- ② 「次へ」をクリックします。
- ③ 「AI車両属性識別」をチェックします。
- ④ 「次へ」をクリックします。
- ⑤ 保存フォルダに本製品のダウンロードサイトからダウンロードしたzipファイルを解凍したフォルダを指定します。
- ⑥ 「確認画面へ」をクリックします。

画面のガイダンスに従い操作を進めるとカメラ3用のAI車両属性識別アプリケーション(XAE206-Cam3\_vXXX.ext)とカメラ3用のAIエンコーダー(AIEncoder-Cam3\_vXXX.ext)がインストールされます。



「戻る」ボタンをクリックして、「カメラ番号の選択」画面まで戻ります。

カメラ4用のAI混雑検知アプリケーションをインストールします。

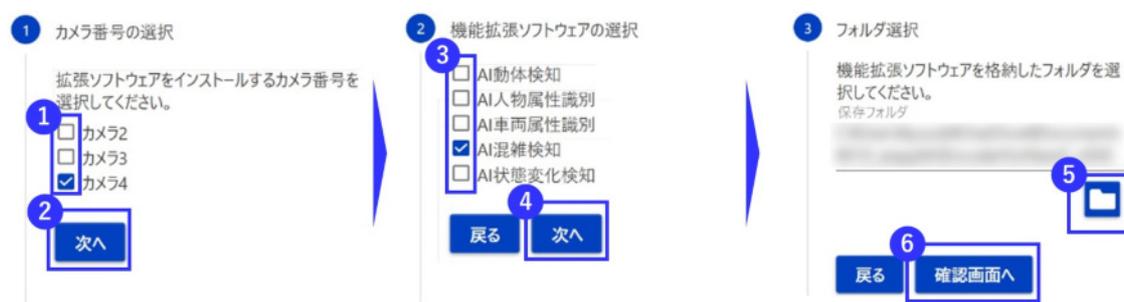
- ① 「AIエンコーダー(カメラ2-)」の画面の右側のメニューから、カメラ4をチェックします。
- ② 「次へ」をクリックします。

## 2 準備

### 2.3 解除キー番号を取得・登録する

- ③ 「AI混雑検知」をチェックします。
- ④ 「次へ」をクリックします。
- ⑤ 保存フォルダに本製品のダウンロードサイトからダウンロードしたzipファイルを解凍したフォルダを指定します。
- ⑥ 「確認画面へ」をクリックします。

画面のガイダンスに従い操作を進めるとカメラ4用のAI混雑検知アプリケーション(XAE207-Cam4\_vXXX.ext)とカメラ4用のAIエンコーダー(AIEncoder-Cam4\_vXXX.ext)がインストールされます。



**複数のカメラや複数の機能拡張ソフトウェアを指定してまとめてインストールする**

- 複数の非AIカメラ用の機能拡張ソフトウェアを同時にインストールしたい場合は、「カメラ番号の選択」の①にて複数のカメラを選択してください。
- 選択したカメラに対して複数の機能拡張ソフトウェアをインストールしたい場合、「機能拡張ソフトウェアの選択」の③にて複数のソフトウェアを選択してください。



- インストール中は、カメラの電源を切らないでください。
- インストール中は、インストールが終了するまで一切の操作を行わないでください。
- 機能拡張ソフトウェアは、本製品をダウンロードしたzipファイルに含まれています。zipファイルにあるソフトウェアをご使用ください。
- zipファイルは解凍してご使用ください。

## 2.3 解除キー番号を取得・登録する

機能拡張ソフトウェアを使用するには、機能拡張ソフトウェアの解除キー番号を取得し、お使いのカメラに登録する必要があります。

下記の手順に従って、解除キー番号を取得してください。

- 1) キー管理システムにサインアップする

→ [2.3.1 キー管理システムにサインアップする](#)

キー管理システムのサイトにアクセスして、登録IDを取得します。すでにキー管理シス

## 2 準備

### 2.3 解除キー番号を取得・登録する

---

テムの登録IDを取得済みであれば、本手順は不要です。

- 2) カメラ1用の機能拡張ソフトウェアの解除キーを発行する  
→ [2.3.2 カメラ1用の機能拡張ソフトウェアの解除キーを発行する](#)
- 3) カメラ1用の機能拡張ソフトウェアの解除キーを登録する  
→ [2.3.3 カメラ1用の機能拡張ソフトウェアの解除キーを登録する](#)
- 4) カメラ2、3、4用の機能拡張ソフトウェアの解除キーを発行する  
→ [2.3.4 カメラ2、3、4用の機能拡張ソフトウェアの解除キーを発行する](#)
- 5) カメラ2、3、4用の機能拡張ソフトウェアの解除キーを登録する  
→ [2.3.5 カメラ2、3、4用の機能拡張ソフトウェアの解除キーを登録する](#)



機能拡張ソフトウェアには、試用期間が設定されています。試用期間中は解除キー番号を登録しないで本製品をお使いいただけます。試用期間(90日)を過ぎてご使用になる場合は、解除キー番号の取得、登録を行ってください。

#### 2.3.1 キー管理システムにサインアップする

- ① [キー管理システム]のURLにアクセスし、[ご販売店様登録]を選択します。



[キー管理システム]のURLについては、以下を参照してください。

- [パソコン・スマートフォン用サイトはこちら](#)
- [パソコン専用サイトはこちら](#)

- ② 画面の指示に従って、ご自身の情報を入力してください。
- ③ 登録IDとパスワードを発行します。



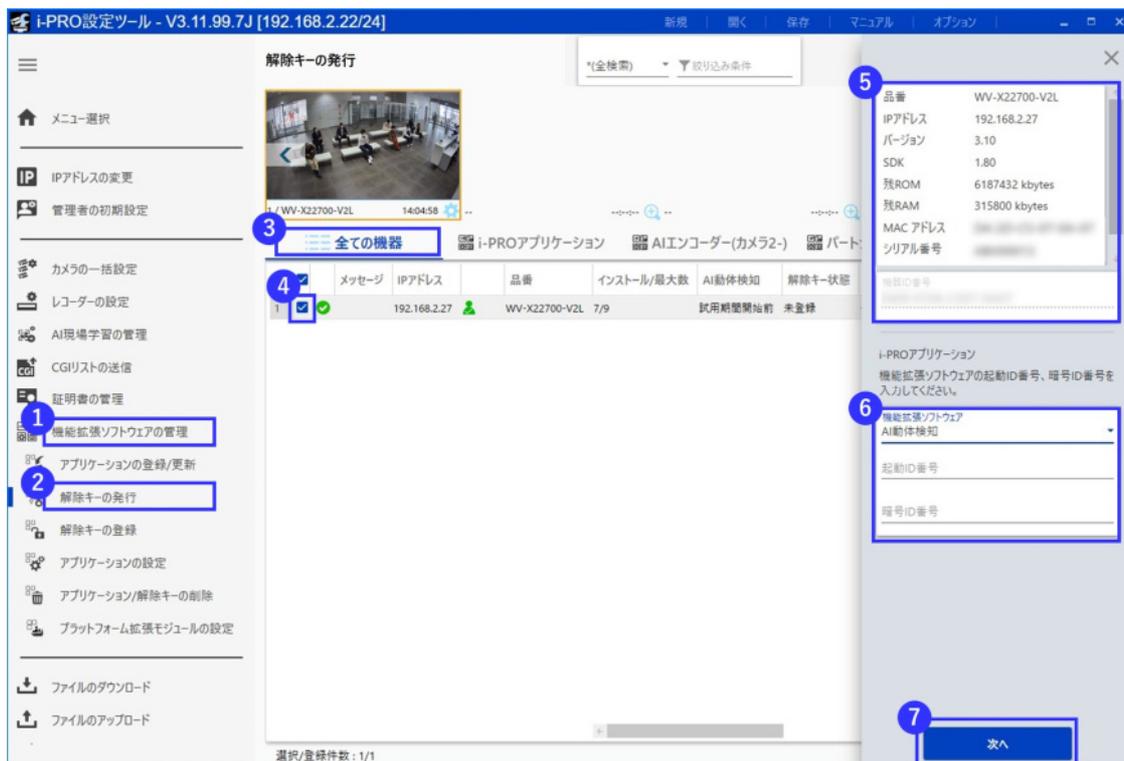
- ・登録IDとパスワードは、大切に保管してください。次回以降、新たに登録IDを取得する必要はありません。発行された登録IDを使用してください。
- ・パスワードは、定期的に変更してください。パスワードの変更は、パソコン専用URLにログインし、「パスワード変更」から行ってください。

#### 2.3.2 カメラ1用の機能拡張ソフトウェアの解除キーを発行する

解除キーを発行する際は、ご購入の起動情報案内カードを事前に準備してください。起動情報案内カードは機能拡張ソフトウェア種別ごとに必要です。起動情報案内カードはカメラ1、カメラ2、カメラ3、カメラ4用のどの機能拡張ソフトウェアに対しても使用できます。

## 2 準備

### 2.3 解除キー番号を取得・登録する



- ① iCTの画面から、左側のメニューの「機能拡張ソフトウェアの管理」をクリックします。
- ② 「解除キーの発行」をクリックします。
- ③ 機器リストの上のタブ「全ての機器」をクリックします。
- ④ 解除キーの発行を行うカメラのチェックボックスにチェックを入れます(複数チェック可)。
- ⑤ 対象のカメラを選択し、以下を確認します。
  - 品番などの情報が表示されていること
  - [機器ID番号]が表示されていること
- ⑥ 設定画面にて下記を入力します。
  - [拡張機能]:解除したい機能拡張ソフトウェアを選択します。
  - [起動ID番号]:ご購入の起動情報案内カードに記載の起動ID番号を入力します(16桁)。
  - [暗号ID番号]:ご購入の起動情報案内カードに記載の暗号ID番号を入力します(8桁)。
- ⑦ 「次へ」をクリックします。

## 2 準備

### 2.3 解除キー番号を取得・登録する

**KMSサーバーへのログイン(キー発行)**

キー管理システムの登録ID、パスワードを入力してください。「開始」ボタンをクリックすると、キー管理システムのサイトにアクセスし、解除キー番号を発行します。

登録ID

パスワード

入力中のパスワードをそのまま表示する

次回もこの内容を使用する

開始

- ⑧ キー管理システムの登録IDとパスワードを入力します。
- ⑨ 「開始」をクリックします。
  - 確認画面が表示されます。
- ⑩ 正常にログインすることを確認します。
- ⑪ 「保存」ボタンをクリックします。
  - 解除キーなどのリスト情報は保存してください。

複数のカメラ1用機能拡張ソフトウェアをご使用の場合は、それぞれの機能拡張ソフトウェアに対して④～⑪の手順を実行してください。



- キー発行をするためには、インターネット環境が必要です。
- [機器ID番号]とそのカメラに使用する[起動ID番号]、[暗号ID番号]の組み合わせを間違えないようにご注意ください(一度解除キー番号を発行した[起動ID番号]は、別の[機器ID番号]との組み合わせで解除キー番号を発行することはできません)。
- [起動ID番号]と[暗号ID番号]は、同一の機能拡張ソフトウェアのカメラ1、カメラ2、カメラ3、カメラ4用に対して使用できます。

## 2 準備

### 2.3 解除キー番号を取得・登録する

#### 2.3.3 カメラ1用の機能拡張ソフトウェアの解除キーを登録する



- ① iCTの画面から、左側のメニューの「機能拡張ソフトウェアの管理」をクリックします。
- ② 「解除キーの登録」をクリックします。
- ③ 機器リストの上部のタブ「全ての機器」をクリックします。
- ④ 解除キーを登録するカメラのチェックボックスにチェックを入れます(複数チェック可)。
- ⑤ 対象のカメラを選択し、以下を確認します。
  - 品番などの情報が表示されること
  - [機器ID番号]が表示されること
- ⑥ 設定画面にて下記を行います。
  - [拡張機能]:解除したい機能拡張ソフトウェアを選択してください。
  - [解除キー番号]:キー管理システムから発行された番号を入力します(16桁)。  
[2.3.3 カメラ1用の機能拡張ソフトウェアの解除キーを登録する](#) で取得した解除キーが自動で表示されます。表示されない場合は、入力してください。
- ⑦ 「次へ」ボタンをクリックします。
  - 進捗画面が表示されます。
- ⑧ 解除キーの登録が正常に完了することを確認します。
  - 機能拡張ソフトウェアカメラ1、2、3、4の内、一つが解除キー登録状態になっていることを確認してください。機能拡張ソフトウェアカメラ1、2、3、4の順に解除キーが登録されるわけではありません。

複数のカメラ1用機能拡張ソフトウェアをご使用する場合は、それぞれの機能拡張ソフトウェアに

## 2 準備

### 2.3 解除キー番号を取得・登録する

対して⑤～⑧の手順を実行してください。



- ・解除キー番号は、アクセスレベルが[1.管理者]のユーザーだけが登録できます。アクセスレベルの設定方法については、カメラの取扱説明書をお読みください。
- ・インストールが失敗した場合、メッセージ欄のエラー内容を確認してください。
- ・機能拡張ソフトウェアカメラ1、2、3、4の順に解除キーが登録されるわけではありません。

#### 2.3.4 カメラ2、3、4用の機能拡張ソフトウェアの解除キーを発行する

解除キーを発行する際は、ご購入の起動情報案内カードを事前に準備してください。起動情報案内カードは機能拡張ソフトウェア種別ごとに必要です。起動情報案内カードはカメラ1、カメラ2、カメラ3、カメラ4用のどの機能拡張ソフトウェアに対しても使用できます。

The screenshot shows the 'i-PRO設定ツール - V3.11.99.7J [192.168.2.22/24]' window. The main area is titled '解除キーの発行' (Release Key Issuance). A table lists devices with columns for 'メッセージ', 'IPアドレス', '品番', 'インストール/最大数', and 'AI動体検知 カメラ'. The first device is selected, and its details are shown in a panel on the right. The panel includes fields for '起動ID番号' and '暗号ID番号' for each of the three software types: AI動体検知, AIエンコーダー, and AI顔検出.

メッセージ	IPアドレス	品番	インストール/最大数	AI動体検知 カメラ
<input checked="" type="checkbox"/>	192.168.2.27	WV-X22700-V2L	7/9	未インストール

品番	WV-X22700-V2L
IPアドレス	192.168.2.27
バージョン	3.10
SDK	1.80
残ROM	6187432 kbytes
残RAM	315800 kbytes
MAC アドレス	
シリアル番号	

機能拡張ソフトウェア	AI動体検知
起動ID番号 1	
暗号ID番号 1	
起動ID番号 2	
暗号ID番号 2	
起動ID番号 3	
暗号ID番号 3	

- ① iCTの画面から、左側のメニューの「機能拡張ソフトウェアの管理」をクリックします。
- ② 「解除キーの発行」をクリックします。
- ③ 機器リストの上部のタブ「AIエンコーダー(カメラ2-)」をクリックします。
- ④ 解除キーの発行を行うカメラのチェックボックスにチェックを入れます(複数チェック可)。
- ⑤ 対象のカメラを選択し、以下を確認します。
  - 品番などの情報が表示されていること

## 2 準備

### 2.3 解除キー番号を取得・登録する

- [機器ID番号]が表示されていること
- ⑥ 設定画面にて下記を入力します。同じ機能拡張ソフトウェアに対して、最大3つまで同時に発行できます。
  - [拡張機能]: 解除したい機能拡張ソフトウェアを選択します。
  - [起動ID番号]: ご購入の起動情報案内カードに記載の起動ID番号を入力します(16桁)。
  - [暗号ID番号]: ご購入の起動情報案内カードに記載の暗号ID番号を入力します(8桁)。
- ⑦ 「次へ」をクリックします。

KMSサーバーへのログイン(キー発行)

キー管理システムの登録ID、パスワードを入力してください。「開始」ボタンをクリックすると、キー管理システムのサイトにアクセスし、解除キー番号を発行します。

登録ID

パスワード

入力中のパスワードをそのまま表示する

次回もこの内容を使用する

開始

- ⑧ キー管理システムの登録IDとパスワードを入力します。
- ⑨ 「開始」をクリックします。
  - 確認画面が表示されます。
- ⑩ 正常にログインすることを確認します。
- ⑪ 「保存」ボタンをクリックします。
  - 解除キーなどのリスト情報は保存してください。

複数の機能拡張ソフトウェアをご使用になる場合は、それぞれの機能拡張ソフトウェアに対して

④～⑪の手順を実行してください。



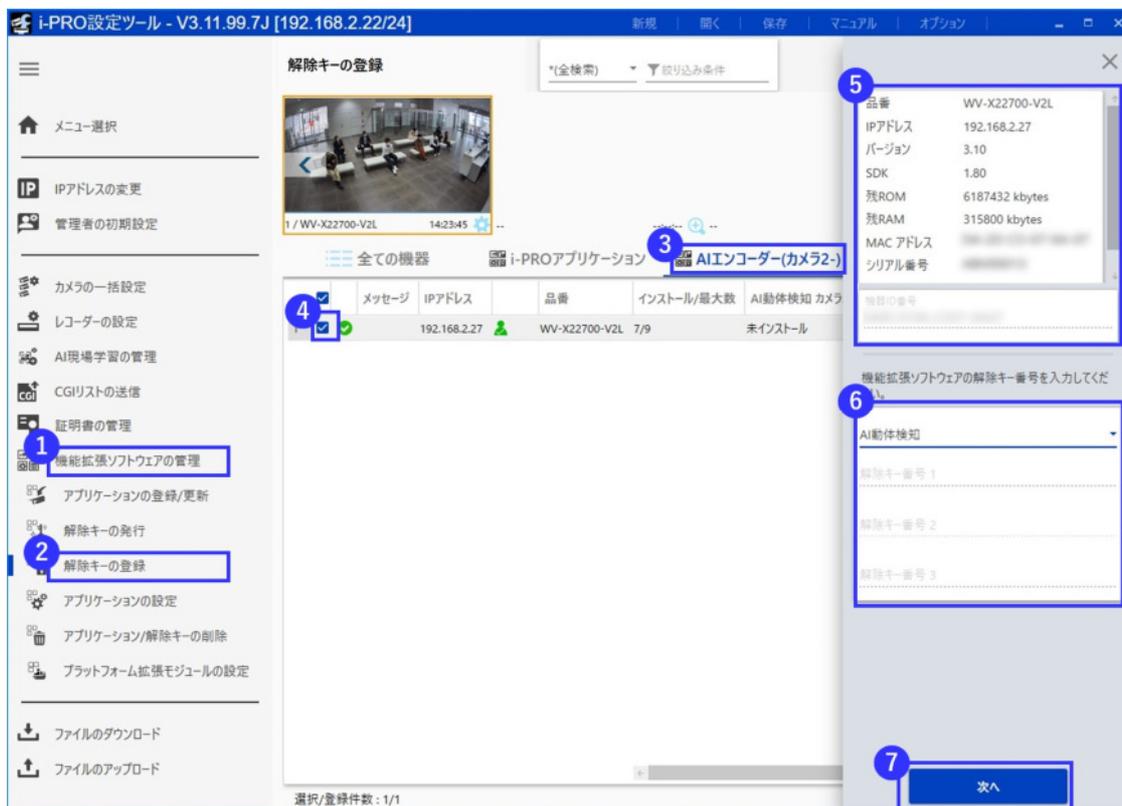
- ・キー発行をするためには、インターネット環境が必要です。
- ・[機器ID番号]とそのカメラに使用する[起動ID番号]、[暗号ID番号]の組み合わせを間違えないようご注意ください(一度解除キー番号を発行した[起動ID番号]は、別の[機器ID番号]との組み合わせで解除キー番号を発行することはできません)。

## 2 準備

### 2.3 解除キー番号を取得・登録する

・[起動ID番号]と[暗号ID番号]は、同一の機能拡張ソフトウェアのカメラ1、カメラ2、カメラ3、カメラ4用に対して使用できます。

#### 2.3.5 カメラ2、3、4用の機能拡張ソフトウェアの解除キーを登録する



- ① iCTの画面から、左側のメニューの「機能拡張ソフトウェアの管理」をクリックします。
- ② 「解除キーの登録」をクリックします。
- ③ 機器リストの上部のタブ「全ての機器」をクリックします。
- ④ 解除キーを登録するカメラのチェックボックスにチェックを入れます(複数チェック可)。
- ⑤ 対象のカメラを選択し、以下を確認します。
  - 品番などの情報が表示されること
  - [機器ID番号]が表示されること
- ⑥ 設定画面にて下記を行います。同じ機能拡張ソフトウェアに対して、最大3つまで同時に発行できます。
  - [拡張機能]:解除したい機能拡張ソフトウェアを選択してください。
  - [解除キー番号]:キー管理システムから発行された番号を入力します(16桁)。

2.3.4 [カメラ2、3、4用の機能拡張ソフトウェアの解除キーを発行する](#) で発行した解除キーが自動で表示されます。解除キーが表示されない場合は入力してください。

- ⑦ 「次へ」ボタンをクリックします。
  - 進捗画面が表示されます。
- ⑧ 解除キーの登録が正常に完了することを確認します。
  - 機能拡張ソフトウェア カメラ1、2、3、4の順に解除キーが登録されるわけではありません。ご使用になる機能ソフトウェアの個数分、解除キーの登録を行ってください。

複数の機能拡張ソフトウェアをご使用になる場合は、それぞれの機能拡張ソフトウェアに対して④～⑧の手順を実行してください。



- 解除キー番号は、アクセスレベルが[1.管理者]のユーザーだけが登録できます。アクセスレベルの設定方法については、カメラの取扱説明書をお読みください。
- インストールが失敗した場合、メッセージ欄のエラー内容を確認してください。
- 解除キーの登録は、機能拡張ソフトウェア カメラ1、2、3、4の順ではありません。ご使用になる機能ソフトウェアの個数分、解除キーの登録を行ってください。

## 2.4 非AIカメラの設定をする

本製品と連携する非AIカメラの設定を行います。設定方法はカメラのマニュアルをご覧ください。以下の内容を設定してください。

- MJPEG データを出力するストリームを設定します
- MJPEG データの解像度は、1920x1080 もしくは、1280x720 に設定します
- MJPEG データのフレームレートを 5fps に設定します
- 画像回転は、「0度」または、「180度」を設定してください。



非AIカメラのフレームレートを5fpsに設定できない場合、5fpsに最も近い値を設定してください。(フレームレートの最小値は3fpsです)

### 3 基本設定

#### 3.1 AIエンコーダーアプリケーションの設定

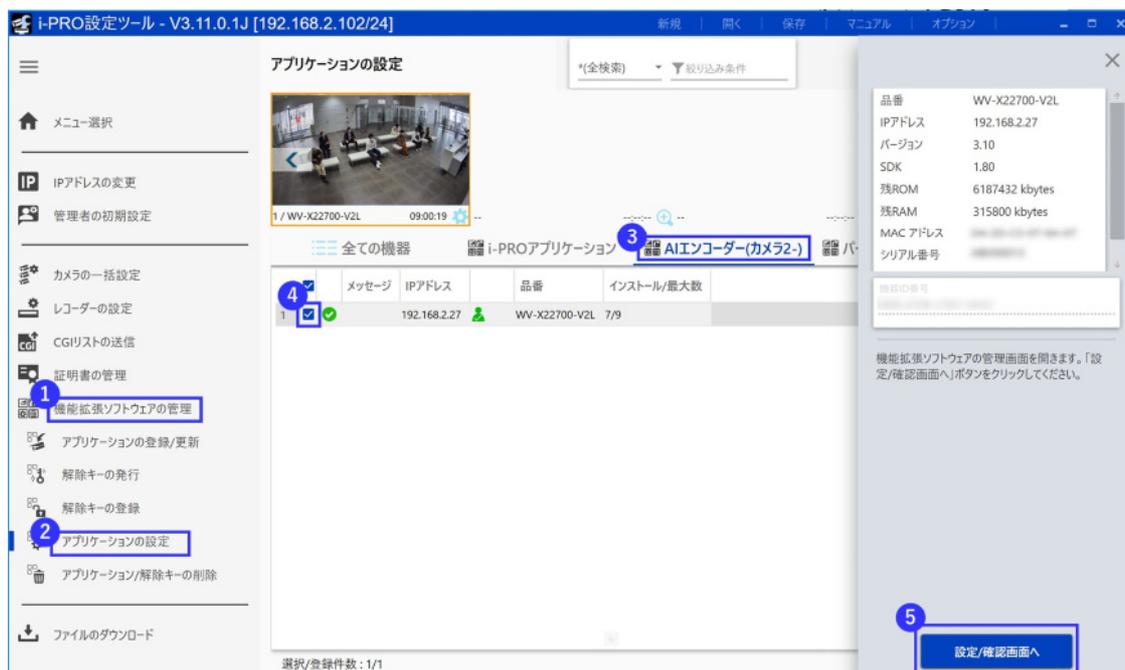
## 3 基本設定

### 3.1 AIエンコーダーアプリケーションの設定

2 準備 が完了した状態からAIエンコーダーアプリケーションの設定手順を説明します。

(1) iCTの機能拡張ソフトウェアの設定画面を表示します。

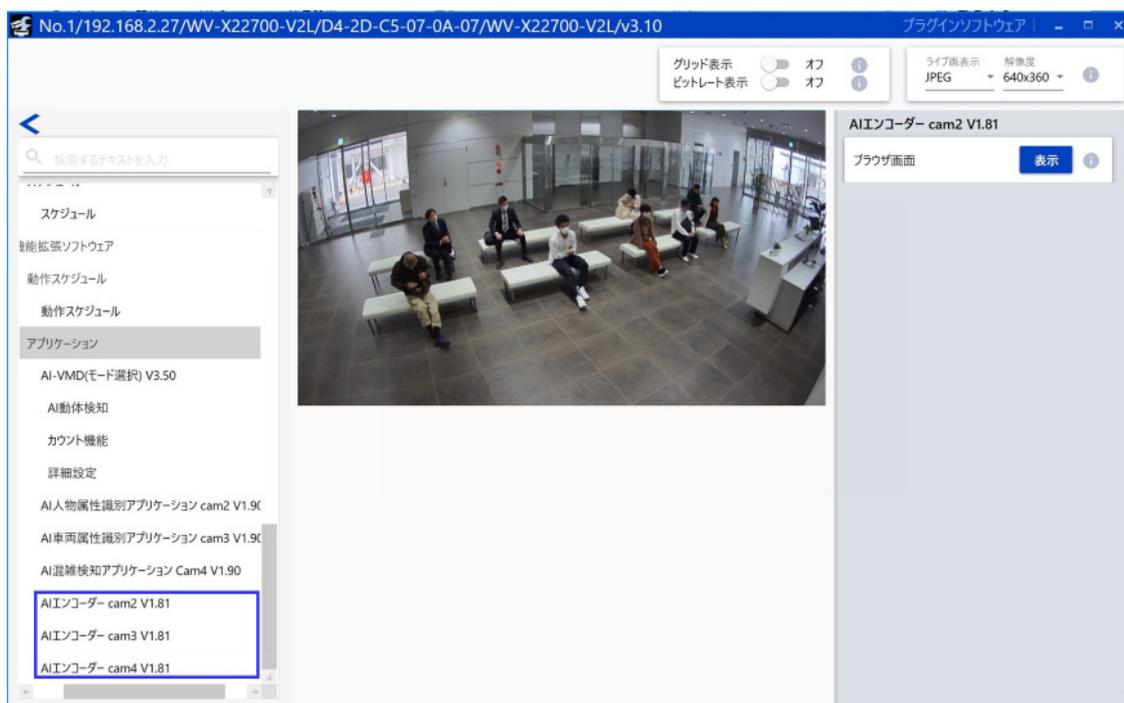
- ① iCTを開き、左側のメニューの「機能拡張ソフトウェアの管理」をクリックします。
- ② 「アプリケーションの設定」をクリックします。
- ③ 機器リスト上部のタブ「AIエンコーダー(カメラ2-)」をクリックします。
- ④ 機器リストから機能拡張アプリケーションを設定するカメラをチェックします。
- ⑤ 「設定/確認画面へ」のボタンをクリックします。



(2) 機能拡張ソフトウェアの詳細設定画面が表示されます。左側のメニューをスクロールし「AIエンコーダー CamX Vx.xx」の項目を表示します。

### 3 基本設定

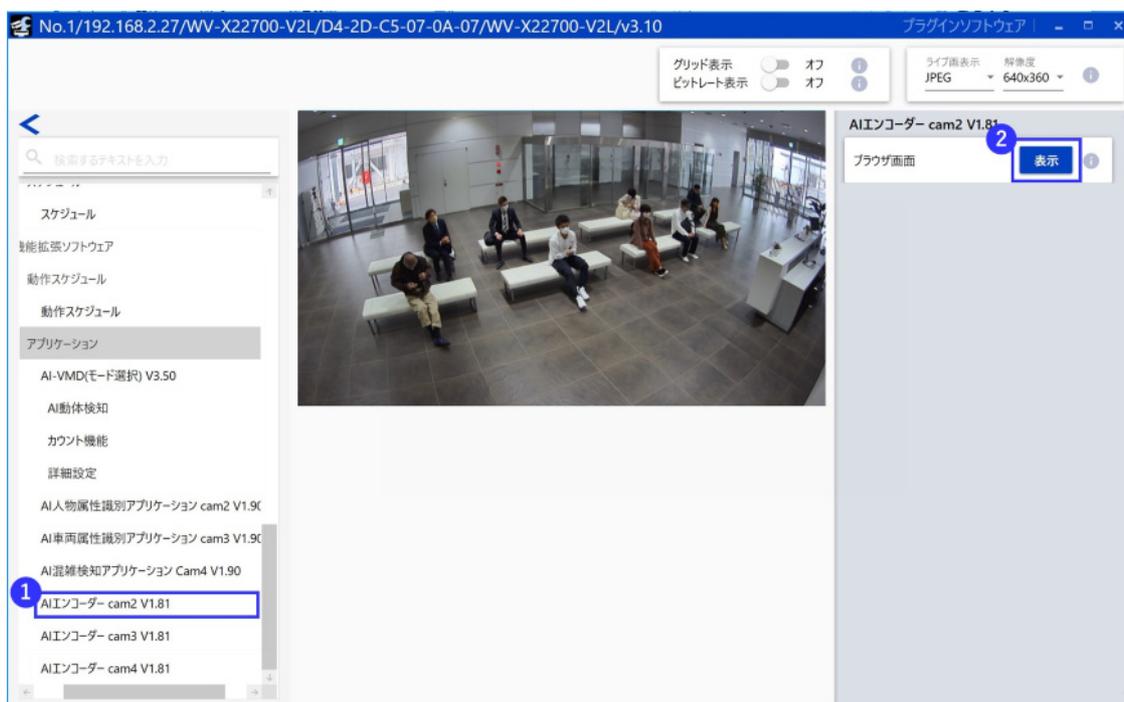
#### 3.1 AIエンコーダーアプリケーションの設定



以降では、AIエンコーダー cam2の設定について記載します、AIエンコーダー Cam3, 4についても同様の手順で設定してください。設定項目はご使用の環境に合わせて設定してください。

(3) ブラウザの設定画面を表示します。

- ① iCTの詳細設定画面の左側メニューから、「AIエンコーダー cam2 Vx.xx」をクリックします。
- ② 右側メニューの「表示」ボタンをクリックします。



### 3 基本設定

#### 3.1 AIエンコーダーアプリケーションの設定

(4) 非AIカメラの情報を入力します。

非AIカメラの情報 カメラ2	
非AIカメラのユーザー名	<input type="text" value="xxxxxxx"/>
非AIカメラのパスワード	<input type="password" value="*****"/>
プロトコル	<input type="radio"/> HTTPS <input checked="" type="radio"/> HTTP
非AIカメラのIPアドレス	<input type="text" value="192.168.0.11"/>
非AIカメラのポート番号	<input type="text" value="80"/>
HTTP JPEG ストリームURL	<input type="text" value="cgi-bin/mjpg?stream=1&amp;framerate=5"/>
マルチセンサカメラのカメラ番号 	<input type="text" value="1"/>
設定ボタンをクリックした際に、認証を求められることがあります。非AIカメラのユーザー名、パスワードを入力してください。	
<input type="button" value="設定"/>	
結果	
HTTP JPEG ストリームURL全体	-
受信映像	映像を受信できません。
解像度	-
フレームレート	-

- **非AIカメラのユーザー名**  
非AIカメラに設定しているユーザー名を入力してください。  
初期設定: 空欄
- **非AIカメラのパスワード**  
非AIカメラに設定しているパスワードを入力してください。  
初期設定: 空欄
- **プロトコル**  
本製品から非AIカメラにアクセスするプロトコルを選択してください。  
初期設定: HTTP
- **非AIカメラのIPアドレス**  
非AIカメラに割り当てているIPアドレスを入力してください。  
初期設定: 空欄
- **非AIカメラのポート番号**  
非AIカメラに設定している、使用するプロトコルのポート番号を入力してください。  
初期設定: 空欄
- **HTTP JPEG ストリームURL**  
非AIカメラの MJPEG データを取得するコマンドを入力してください。  
カメラのIPアドレス以降のコマンドを入力してください。

### 3 基本設定

#### 3.1 AIエンコーダーアプリケーションの設定

---

先頭に「/」は入力しないでください。先頭の「/」は本製品が自動で補完します。  
マルチセンサカメラの場合は、カメラ番号の指定もコマンドに含めてください。

初期設定: 空欄

例: 非AIカメラがi-PRO カメラ(単眼カメラ)の場合

cgi-bin/mjpeg?stream=1&framerate=5

#### - マルチセンサカメラのカメラ番号

非AIカメラがマルチセンサカメラの場合、マルチセンサカメラのカメラ番号を入力してください。1~4 の数値で指定してください。非AIカメラが単眼カメラの場合は1を入力してください。この項目で入力した情報は、マルチAIソフトウェアと接続する際に使用します。

初期設定: 1



- 本製品の設定項目には、新Xシリーズカメラの情報ではなく非AIカメラの情報を  
入力してください。

(5) 「設定」ボタンをクリックします。

(6) ユーザー名、パスワードを入力するアラートが表示されることがあります。非AIカメラのユーザー名、パスワードを入力して「サインイン」ボタンをクリックしてください。

**このサイトにアクセスするにはサインインしてください**

http://192.168.0.11 では認証が必要となります  
このサイトへの接続は安全ではありません

ユーザー名

パスワード

(7) 「結果」>「受信映像」に非AIカメラの映像が表示されることを確認します。「解像度」、「フレームレート」に実際に受信している映像の解像度とフレームレートが表示されます。

### 3 基本設定

#### 3.2 本製品と連携する機能拡張ソフトウェアの設定

非AIカメラの情報 カメラ2	
非AIカメラのユーザー名	xxxxxxxx
非AIカメラのパスワード	*****
プロトコル	<input type="radio"/> HTTPS <input checked="" type="radio"/> HTTP
非AIカメラのIPアドレス	192.168.0.11
非AIカメラのポート番号	80
HTTP JPEG ストリームURL	cgi-bin/mjpg?stream=1&framerate=5
マルチセンサカメラのカメラ番号 	1
設定ボタンをクリックした際に、認証を求められることがあります。非AIカメラのユーザー名、パスワードを入力してください。	
<b>設定</b>	
結果	
HTTP JPEG ストリームURL全体	http://192.168.0.11:80/cgi-bin/mjpg?stream=1&framerate=5
受信映像	
解像度	1920x1080
フレームレート	5.0

AIエンコーダー カメラ3、AIエンコーダー カメラ4についても同じ手順で設定を行います。

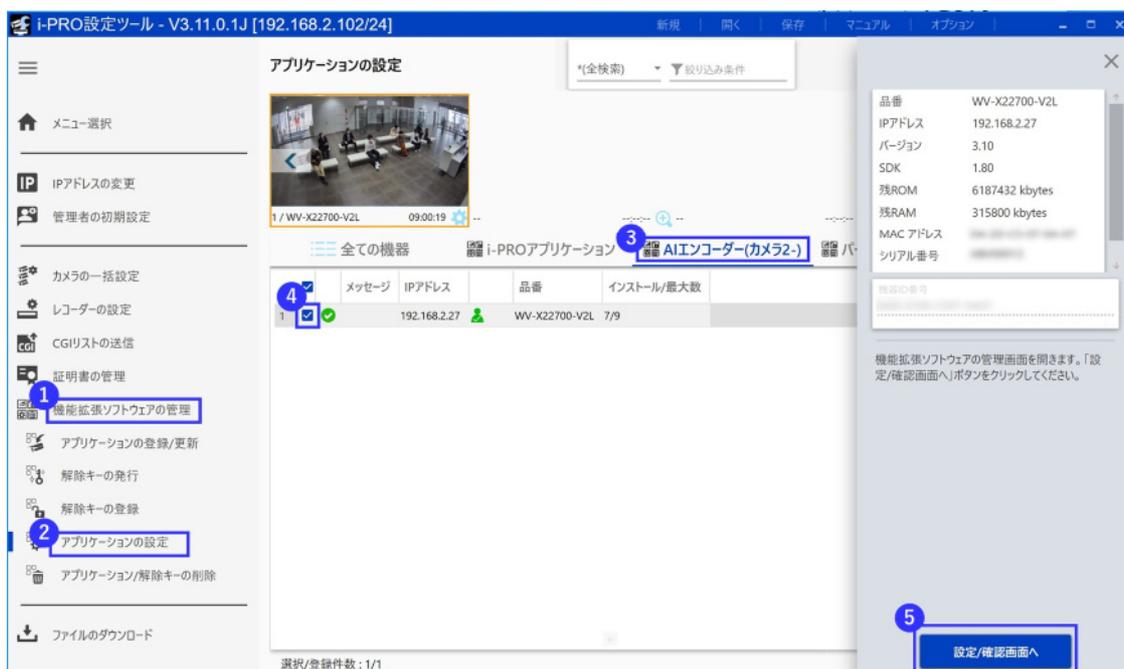
このブラウザ画面は、[3.2 本製品と連携する機能拡張ソフトウェアの設定](#) が完了するまで閉じないでください。

## 3.2 本製品と連携する機能拡張ソフトウェアの設定

- (1) iCTの機能拡張ソフトウェアの設定画面を表示します。
- ① iCTを開き、左側のメニューの「機能拡張ソフトウェアの管理」をクリックします。
- ② 「アプリケーションの設定」をクリックします。
- ③ 機器リスト上部のタブ「AIエンコーダー(カメラ2-)」をクリックします。
- ④ 機器リストから機能拡張アプリケーションを設定するカメラをチェックします。
- ⑤ 「設定/確認画面へ」のボタンをクリックします。

### 3 基本設定

#### 3.2 本製品と連携する機能拡張ソフトウェアの設定

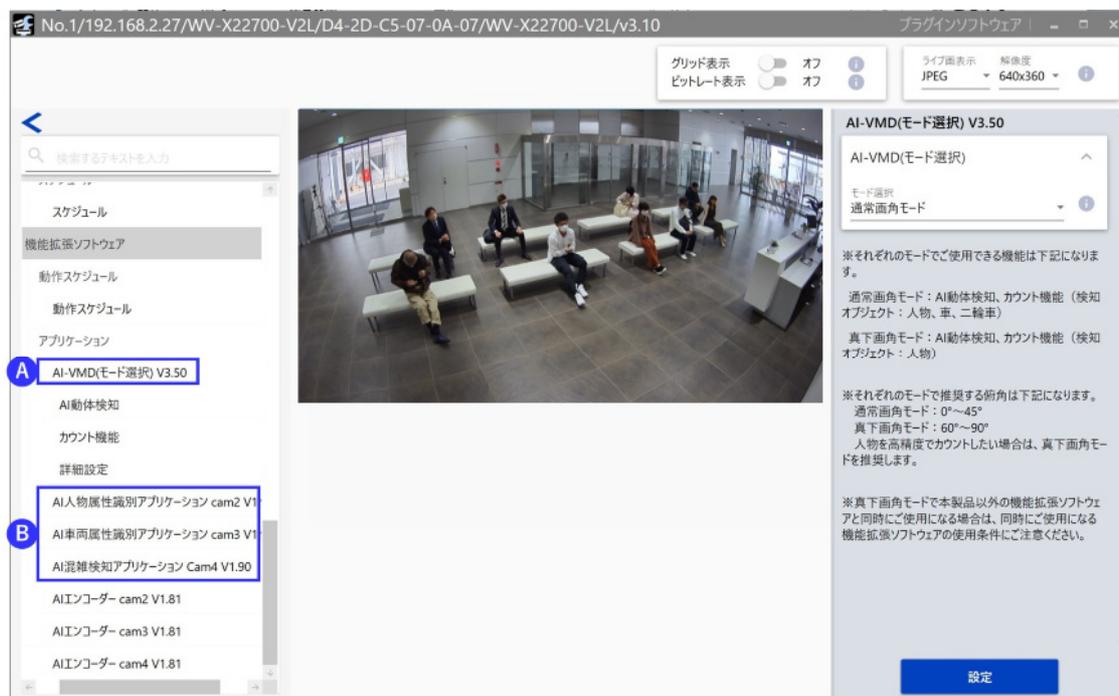


(2) 機能拡張ソフトウェアの詳細設定画面が表示されます。左側のメニューをスクロールし機能拡張ソフトウェアの項目を表示します。機能拡張ソフトウェアには以下の項目が表示されます。

A: カメラ1用の機能拡張ソフトウェア

B: カメラ2, 3, 4用の機能拡張ソフトウェア

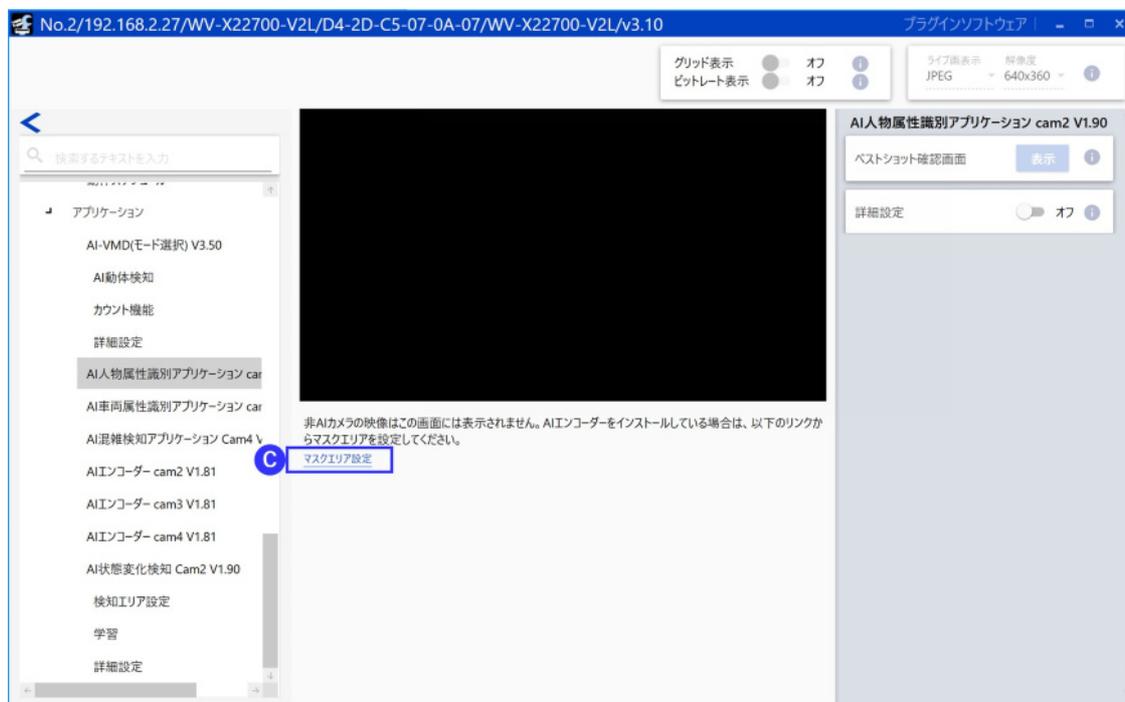
機能拡張ソフトウェアの設定は、各機能拡張ソフトウェアのマニュアルを参照して設定を行ってください。



### 3 基本設定

#### 3.2 本製品と連携する機能拡張ソフトウェアの設定

iCTのカメラ2、3、4用の機能拡張ソフトウェアの設定画面にはカメラ2、カメラ3、カメラ4の非AIカメラの映像は表示されません。映像を確認しながら設定する必要がある項目は、iCTの画面に表示されるリンク(下図C)をクリックし、ブラウザの設定画面にて設定を行ってください。



ブラウザの設定画面を開く際に、ユーザー名とパスワードを入力するアラートが表示されることがあります。アラートには非AIカメラのユーザー名、パスワードを入力してください。

**このサイトにアクセスするにはサインインしてください**

http://192.168.0.11 では認証が必要となります  
このサイトへの接続は安全ではありません

ユーザー名

パスワード

非AIカメラのライブ映像が機能拡張ソフトウェアのブラウザの設定画面に表示されます。ブラウザの設定画面に映像が表示されない場合は、「F5」キーを押下しブラウザの画面をリロードしてください。AI状態変化検知アプリケーションは、カメラ2、カメラ3、カメラ4の非AIカメラの映像がiCTの設定画面に表示されます。映像が表示されない場合は、AIエンコーダーの設定を行ってください。

### 3 基本設定

#### 3.3 マルチAIソフトウェアの設定



- アラートに入力するユーザー名、パスワードは非AIカメラのユーザー名、パスワードを入力してください。新Xシリーズカメラのユーザー名、パスワードではありません。
- AI動体検知アプリケーションの「モード選択」は「通常画角モード」でご使用ください。
- iCTでは非AIカメラのライブ映像は表示されません。エリア設定などはiCTに表示されるリンク先の設定画面で設定してください。
- AI動体検知アプリケーションの「詳細設定」>「AI-VMD情報付加」は、Offになります。
- AI動体検知アプリケーションをAIエンコーダーアプリケーションと使用する場合、検知結果の枠情報は、カメラのライブ画面やiCTには表示されません。
- AIエンコーダーアプリケーションおよび、連携する機能拡張ソフトウェアのカメラ1～カメラ4のスケジュール設定は、常にOnでご使用ください。
- 新Xシリーズカメラの「アラーム」>「アラーム連動動作」の設定項目は、Offでの使用が推奨です。

### 3.3 マルチAIソフトウェアの設定

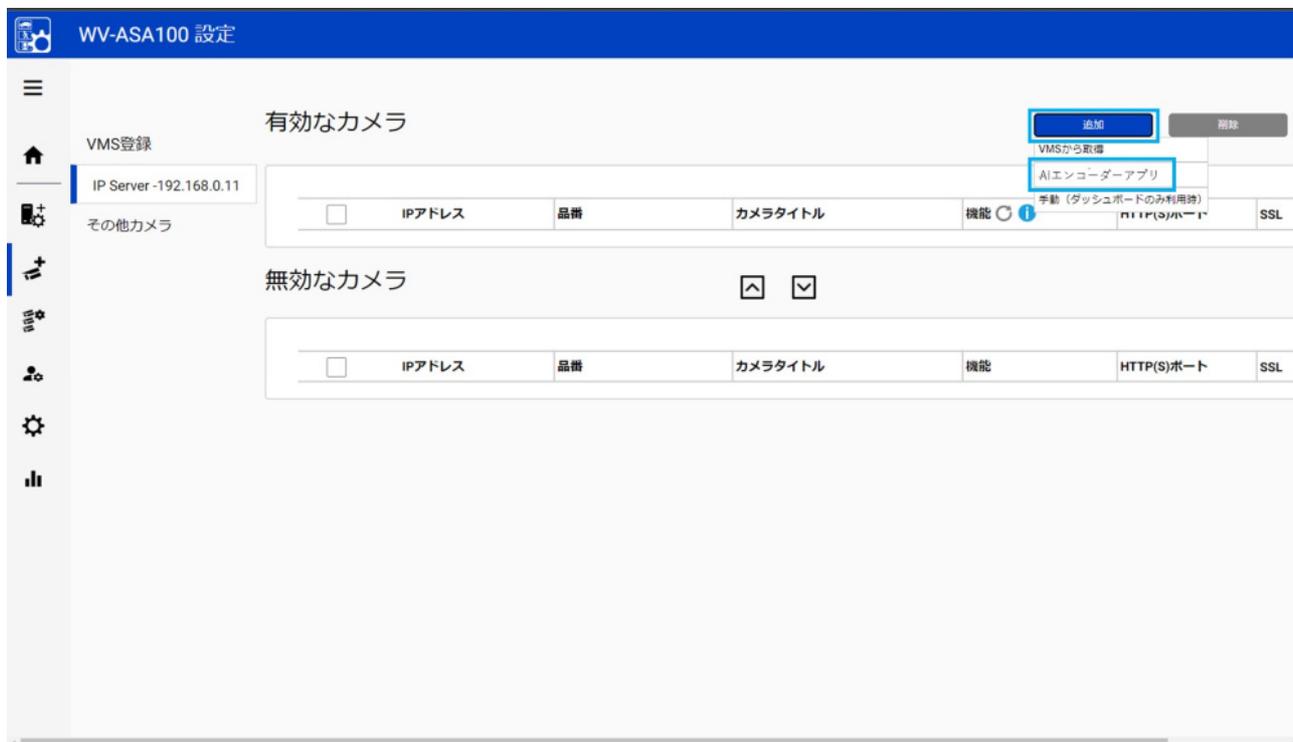
マルチAIソフトウェアの設定はマルチAIソフトウェアのマニュアルを参照して下さい。以下ではAIエンコーダーアプリケーションと連携する機能拡張ソフトウェアをマルチAIソフトウェアに登録する

### 3 基本設定

#### 3.3 マルチAIソフトウェアの設定

方法を記載します。

- (1) 「カメラ登録」をクリックします。
- (2) 「追加」>「AIエンコーダーアプリ」をクリックします。



- (3) 新XシリーズカメラのIPアドレス、認証情報を入力し、「チェック」をクリックします。非AIカメラがリストに表示されたことを確認し、「保存」をクリックする。



- (4) 「Restart」をクリックし、マルチAIサーバーを再起動します。

### 3 基本設定

#### 3.3 マルチAIソフトウェアの設定



The screenshot shows the 'WV-ASA100 設定' (Settings) page. A yellow banner at the top reads '設定変更を完了するためにプロセスを再起動してください' (Please restart the process to complete the configuration change) with a 'Restart' button. The main content is divided into '有効なカメラ' (Active Cameras) and '無効なカメラ' (Inactive Cameras). The '有効なカメラ' section contains a table with three entries:

<input type="checkbox"/>	IPアドレス	品番	カメラタイトル	機能	HTTP(S)ポート	SSL
1 <input type="checkbox"/>	192.168.0.70	WV-S2136L(WV-X25700-V2L)	192.168.0.14 - Panasonic - Model: S21...	🚗	80	Off
2 <input type="checkbox"/>	192.168.0.70	WV-S25500-F3L(WV-X25700-...)	192.168.0.34 - Model: Panasonic / I-PR...	👤	80	Off
3 <input type="checkbox"/>	192.168.0.70	UnicastRTP(WV-X25700-V2L)	192.168.0.20 - Panasonic - Model: X25...	👤	80	Off

The '無効なカメラ' section is currently empty, showing only headers and checkboxes.



事前に以下の設定が必要です。

- [3.1 AIエンコーダーアプリケーションの設定](#)
- 映像監視ソフトウェア(WV-ASM300WUX等)へ非AIカメラを登録

## 4 その他

### 4.1 仕様

#### 4.1.1 必要なPCの環境

本製品を設定する環境として、1920x1080の解像度で表示できるディスプレイのご使用を推奨します。カメラの設定で使用するPCの仕様については、新Xシリーズカメラのマニュアルや非AIカメラのマニュアルをお読みください。

#### 4.1.2 本製品について

項目		内容
入力		最大ch数:3
インストール可能な機能拡張ソフトウェア数		最大数:3
サポートしているカメラ		- i-PRO カメラ 注意:カメラは、次の「非AIカメラからの入力フォーマット」を満たす必要があります。また、JPEGストリームを取得するCGIが必要になります。
非AIカメラからの入力フォーマット	ビデオフォーマット	JPEG
	フレームレート	最小フレームレート:3pfs 推奨フレームレート:5fps
	解像度	1920x1080 または 1280x720
	利用可能な機能拡張ソフトウェア	- AI動体検知アプリケーション(WV-XAE200WUX) - AI人物属性識別アプリケーション(WV-XAE205WUX) - AI車両属性識別アプリケーション(WV-XAE206WUX) - AI混雑検知アプリケーション(WV-XAE207WUX) - AI状態変化検知アプリケーション(WV-XAE400W) 注意:AI検知精度は映像の品質に依存します。ご使用になる環境にて確認してください。
対応するシステム		WV-ASM300UX用マルチAIプラグイン

非AIカメラの数	新Xシリーズカメラ用の機能拡張ソフトウェア数(*)	AI動体検知アプリケーション	AI人物属性識別アプリケーション	AI車両属性識別アプリケーション	AI混雑検知アプリケーション	AI状態変化検知アプリケーション
3	1 (1)	それぞれの非AIカメラにつき1アプリまで使用可能				新Xカメラ向け、非AIカメラ向けの内1つのみ使用可能
2	2 (1)	それぞれの非AIカメラにつき2アプリまで使用可能				
1	3 (2)	それぞれの非AIカメラにつき3アプリまで使用可能				

(\*): カッコ内の数値は、新Xシリーズカメラ8MPモデル使用時の機能拡張ソフトウェア数



- 本製品の対応機種、ソフトウェアバージョンなどの情報は、以下のWEBページを参照してください。

→ [機器互換](#) [管理番号:C0103]

- 同時に使用できる機能拡張ソフトウェアの組み合わせの情報は、以下のWEBページで確認してください。

→ [アクセサリセレクト](#)



- WV-ASM300UX用マルチAIプラグインは、i-PRO製カメラのみが対象です。

#### WV-ASM300UX + マルチAIソフトウェアへの対応

WV-ASM300UX + マルチAIソフトウェア (i-PRO カメラの利用可能)

	AI動体検知アプリケーション	AI人物属性識別アプリケーション	AI車両属性識別アプリケーション	AI混雑検知アプリケーション	AI状態変化検知アプリケーション
マルチAIイベントモニター	✓	✓	✓	✓	✓
マルチAI検索モニター	-	✓	✓	-	-
統計情報表示	✓	✓	✓	✓	-

#### 4.1.3 本製品と対応ソフトウェアの組み合わせ

本製品は対応するAIソフトウェアを組み合わせでご使用ください。XAE400は、カメラ1からカメラ

4の内、最大1つまでインストールできます。

カメラ	AIエンコーダーソフトウェア名	対応する機能拡張ソフトウェア名
新Xシリーズカメラ カメラ1	ー	XAE200_vXXX.ext XAE205_vXXX.ext XAE206_vXXX.ext XAE207_vXXX.ext XAE400_vXXX.ext その他、新Xシリーズカメラに対応する機能拡張ソフトウェア
非AIカメラ カメラ2	AIEncoder-Cam2_vXXX.ext	XAE200-Cam2_vXXX.ext XAE205-Cam2_vXXX.ext XAE206-Cam2_vXXX.ext XAE207-Cam2_vXXX.ext XAE400-Cam2_vXXX.ext
非AIカメラ カメラ3	AIEncoder-Cam3_vXXX.ext	XAE200-Cam3_vXXX.ext XAE205-Cam3_vXXX.ext XAE206-Cam3_vXXX.ext XAE207-Cam3_vXXX.ext XAE400-Cam3_vXXX.ext
非AIカメラ カメラ4	AIEncoder-Cam4_vXXX.ext	XAE200-Cam4_vXXX.ext XAE205-Cam4_vXXX.ext XAE206-Cam4_vXXX.ext XAE207-Cam4_vXXX.ext XAE400-Cam4_vXXX.ext

#### 4.1.4 本製品をインストールするカメラ

本製品が動作するカメラは、新Xシリーズカメラです。新Xシリーズカメラにインストールしてご使用ください。

#### 4.1.5 非AIカメラ

非AIカメラは、MJPEG 1920x1080@5fps または MJPEG 1280x720@5fps の出力に対応している必要があります。以下にMJPEG データを取得するコマンドを以下に示します。

## 4 その他

### 4.3 オープンソースソフトウェアについて

---

カメラメーカー	MJPEG コマンド例 (Http Jpeg stream URL)	full URL (Http jpeg stream full URL)	非AIカメラの設定
i-PRO	cgi-bin/mjpeg? stream=1&framerate=5	http://<camera IP> /cgi-bin/mjpeg? stream=1&framerate=5 or https://<camera IP> /cgi-bin/mjpeg? stream=1&framerate=5	i-PRO製カメラの「映像/音声」>「映像」の設定画面を開き以下の設定をしてください。 - JPEG画像更新速度 (動画時): 5fps - JPEG(1) > 解像度: 1920x1080 or 1280x720



非AIカメラのフレームレートを5fpsに設定できない場合、5fpsに最も近い値を設定してください。(フレームレートの最小値は3fpsです)

## 4.2 商標および登録商法について

- Internet Explorer、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Google Chrome は Google LLC の商標です。
- Firefox は、米国およびその他の国における Mozilla Foundation の商標です。
- ONVIF は、ONVIF Inc. の商標です。

## 4.3 オープンソースソフトウェアについて

本製品は以下のオープンソースソフトウェアを使用しています。対応するライセンス文は「Open Source Software」を参照してください。

## 4 その他

### 4.3 オープンソースソフトウェアについて

---

ソフトウェア名称	ライセンス名称
libjpeg-turbo	The IJG (Independent JPEG Group) License, which is listed in <a href="#">README.ijg</a>
	The Modified (3-clause) BSD License
	The zlib License

### Open Source Software

<p>libjpeg-turbo Licenses</p> <p>libjpeg-turbo is covered by three compatible BSD-style open source licenses:</p> <p>The IJG (Independent JPEG Group) License, which is listed in <a href="#">README.ijg</a></p> <p>This license applies to the libjpeg API library and associated programs (any code inherited from libjpeg, and any modifications to that code.)</p> <p>The Modified (3-clause) BSD License, which is listed below</p> <p>This license covers the TurboJPEG API library and associated programs, as well as the build system.</p> <p>The <a href="#">zlib License</a></p> <p>This license is a subset of the other two, and it covers the libjpeg-turbo SIMD extensions.</p>
--

The Modified (3-clause) BSD License

Copyright (C)2009–2023 D. R. Commander. All Rights Reserved.

Copyright (C)2015 Viktor Szathmáry. All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the libjpeg-turbo Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS", AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

## 4.4 著作権について

本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

## 4.5 免責について

- この商品は、特定のエリアを対象に監視を行うための映像を得ることを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社は如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
  - 本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
  - 本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、画像が表示・記録などできないことおよび記録した情報が消失したことで被る不便・損害・被害
  - 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
  - お客様による監視映像・記録が何らかの理由(ユーザー認証OFFでの使用を含む)により公となり、使用され、その結果生じた、被写体となった個人・団体などによるプライバシー侵害などを理由とする賠償請求、クレームなど
  - 登録した情報内容が何らかの原因(ユーザー名、パスワードなどの認証情報を忘れたことにより本商品を初期化する場合を含む)により、消失してしまうこと